

データのまとめと分析・資料作成

情報の科学 第34回授業

06情報通信ネットワークを用いた問題解決

1 データの受け渡し

- 収集したデータを、チームでシェアする
 - GoogleFormの場合は、説明書を良く参照する。
 - シェアの方法は、チームでやりやすい方法で！
 - セキュリティには十分に配慮すること！ 自分のパスワードを教えたりするようなことは絶対にしないこと
 - 特にAirDrop等を使うチームは、設定を戻すのを忘れずに
 - PC室の「共通」を利用するチームは、シェアが終わったらすぐにデータを消すこと
- データの受け渡しは早めに行い、メンバーの作業時間を確保しましょう。

重要！【必ず守ること】

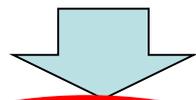
- データの「目的外利用」禁止！ 協力者との約束を守ること！
 - 今回の授業での発表以外で利用することは禁止！
 - ましてや、SNSで結果を発信するなどは、絶対にしないこと！
- 回答者を突き止めたり、未回答者に回答を迫る行為は禁止！
 - 「回答しない」「空欄」も立派な「回答」です。尊重すること。
 - トラブル等でデータが入手できなかったチームは先生に相談する。
- データの取り扱いは慎重に！ 責任を持って削除する。
 - データを放置したり、個人が特定できる形での公開はしない。
 - 集計し活用が終わったら、責任を持って速やかに削除すること。

2. 【復習】データのまとめ

☆集めたデータは、集計しないとグラフにできない!

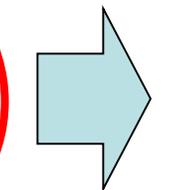
(クロス集計を活用すると良い)

ID	性別	問1	問2	問3
1	男	1	3	30分くらい
2	男	2	1	1時間
3	女	1	1	

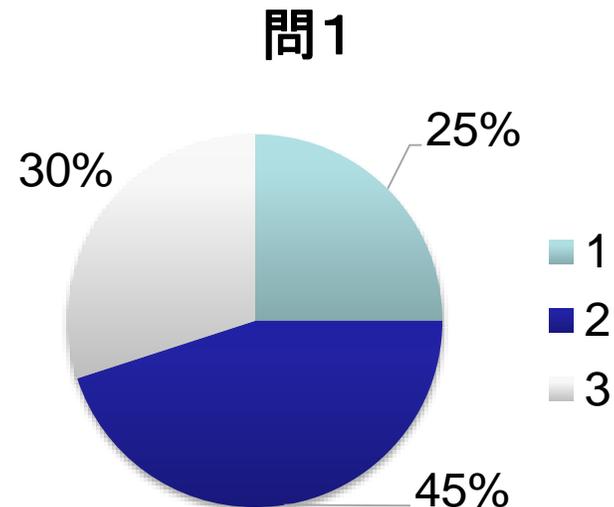


まず集計!

選択肢	問1
1	10
2	18
3	12



グラフ化



3. 分析

- 以前行った分析手法を思い出し、自分たちの「仮説」を意識しながら迫っていこう。
 - ① クロス集計表やグラフをつくる
 - ② 何がわかるのか (事実)
 - ③ 「仮説」は正しいと言えるのか、即ち、解決策の論理的な「根拠」となったのか？
 - ④ さらに「提案」を補強することができるか
 - ⑤ (違った場合)なぜ違ったのか (想像)
 - ⑥ どのような「課題」が生まれたのか
- 「自分たちで何ができるか」という視点を大切にして主体的な解決策を提案しよう。

4. 資料作成

- スライドを作成する
(スライドの構成は、教科書資料17「**レポートのまとめ方**」を参考に)
- スライド発表は、iPadでもPCでもどちらでも可。
- 作成するアプリも、PowerPointでもkeynoteでも、自分が利用・発表できるものであれば何でも可
- **「提案」を前面にし、その根拠を示す**とよい。例えば、
目的・テーマ→**提案(仮説とその背景)**→手順→結果→考察
といった流れで根拠付けしていくと、わかりやすい。

5. リハーサル

- 7回目の授業後半で、リハーサルを行います。
- リハーサルは質問(必ず受けること)時間込みで一人5分以内。先生の合図で順番に行います。
- リハーサルはアンケート実施グループで行います。
 - ソーシャルディスタンスを意識し、周辺に集まってもらい、発表してもらいます。
- 簡単な相互評価を行ってもらいます。それを元に、修正できるところは修正し、本番に臨みましょう。
- 本番は、違うグループで発表してもらいます。

6. 発表

- 8回目の授業後半で、発表を行います。
- 発表は質問(必ず受けること)時間込みで一人5分以内。先生の合図で順番に行います。
- 発表は、別に指示する発表グループで行います。
 - ソーシャルディスタンスを意識し、周辺に集まってもらい、発表してもらいます。
- スライド発表は、iPadでもPCでもどちらでも可。
- 簡単な相互評価を行ってしてもらいます。リハーサルからどれだけ修正できたかを確認しましょう。
- 時間があれば、何人かに全体発表もしてもらいます。
- データは最終的にPDF形式で提出してもらいます。